

組合員の皆様

2017年5月22日

財政状況および勘定未閉鎖保険年度

2017年5月12日（金）、クラブ理事会がローマで開催され、当クラブおよびグループ全体の財政状況を審査しました。本回覧は、組合員の皆様およびブローカーの皆様に、最新情報をご案内するものです。

2017年2月20日期末の連結財務報告書

2017年2月20日を期末とする保険年度の連結財務報告書は理事会で承認されました。報告書は近日中に組合員の皆様に電子メールで配信するとともに、当クラブのウェブサイトでも公表する予定です。スタンダード・クラブのコンバインド・レシオは95%（2016/17保険年度の相互保険料の5%を返戻後）となり、2年連続で適度な引受け剰余金を達成しました。

理事会は2017年2月20日を期末とする保険年度の運用成績がプラスであったことに満足しました。厳しい市場環境の中、当クラブの投資ポートフォリオは、ベンチマークを3%上回る利益率を実現しました。

健全な投資利益率と、好調な保険引受け実績（スタンダード・シンジケートの当クラブ持ち分に基づく実績を含む）に支えられ、4,000万ドルの剰余金を達成し、自由準備金は3億9,000万ドルから4億3,000万ドルに増加しました。この自由準備金の10%の増加は、加入トン数の増加と軌を一にしています。加入トン数は、この1年で9%増加し、1億3,500万gtから1億5,000万gtになりました。主に、組合員の加入トン数が増加したことによる有機的成長に加えて、2016/17保険年度中および保険更改時に、新規組合員が加入したことによるものです。

理事会はスタンダード・シンジケートの当クラブ持ち分の実績を慎重に審査しました。現在の市場環境は、当クラブの戦略における、この重要かつ新たな柱には厳しいものとなっています。そうした状況にもかかわらず、スタンダード・シンジケートは力強く進展しており、新たに2つの出資者を迎え入れ、保険契約と商品を増やしています。理事会は、成長と多角化こそが、当クラブの将来にわたる優位性を確保するという確固たる信念の下、当シンジケートを全面的にサポートし、組合員の保険料に大きく貢献できるようにする所存です。

.. / ...

The Standard Club Europe Ltd

www.standard-club.com

Registered in England No. 17864. Authorised by the Prudential Regulation Authority and regulated by the Financial Conduct Authority and the Prudential Regulation Authority

Managers' London Agents: **Charles Taylor & Co. Limited**. Registered in England No. 2561548
Charles Taylor & Co. Limited is an appointed representative of Charles Taylor Services Limited,
which is authorised and regulated by the Financial Conduct AuthorityRegistered Address: Standard House, 12-13 Essex Street, London WC2R 3AA, UK
Telephone: +44 20 3320 8888 Email: pandi.london@ctplc.com

全体としては、安定した保険引受け実績を保ち、質の高い選択的成長が図られていることは、優れた財務信用力とサービスに裏打ちされ、持続可能でより良い価値のある保険を大切な組合員の皆様に幅広く提供するという、当クラブの戦略に沿った結果です。

P&I クラス

2014/15 保険年度

当該保険年度の勘定は閉鎖されました。組合員の皆様に対する追加の保険料請求はありません。

2015/16 保険年度

保険収支は若干の不足になる見込みです。追加保険料の請求は必要ないと見込んでいます。

2016/17 保険年度

保険収支は若干のプラスになる見込みです。2017年11月1日が予定保険料の分割最終支払期日となっておりますが、それ以外の追加の保険料請求は必要ないと見込んでいます。

2017/18 保険年度

予定保険料が請求されました。分割最終支払期日は2018年11月1日です。

解除保険料

理事会は引き続き、当クラブの財務の健全性が維持され、今後も保険料が安定的に推移すると確信しています。そのことを組合員の皆様に明確に示すため、国際グループ内ですでに最低水準にある解除保険料をさらに引き下げることいたしました。3つの勘定未閉鎖保険年度2015/16、2016/17、2017/18の各解除保険料率は、それぞれの予定保険料の0%、0%、6%となっています。

ディフェンスクラス

2014/15 保険年度

当該保険年度の勘定は閉鎖されました。組合員の皆様に対する追加の保険料請求はありません。

2015/16 および 2016/17 保険年度

当該保険年度のクレーム状況は予想より順調に推移し、いずれの年度も剰余金を計上しました。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

.. /...

2017/18 保険年度

予定保険料が請求されました。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

解除保険料

3つの勘定未閉鎖保険年度の解除保険料率は P&I クラスと同じです。

スタンダード・ロンドン・クラス**2014/15 保険年度**

当該保険年度の勘定は閉鎖されました。組合員の皆様に対する追加の保険料請求はありません。

2015/16 および 2016/17 保険年度

当該保険年度は順調に推移しており、追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

2017/18 保険年度

予定保険料が請求されました。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

解除保険料

すべての勘定未閉鎖保険年度について、解除保険料率は 0% です。これらの解除保険料率の低さは当該クラスの財政状況と今後の保険料の安定性に理事会が大きな自信を持っていることの表れです。

戦争危険クラス

2014/15 保険年度の勘定が閉鎖され、勘定未閉鎖保険年度についても、追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。解除保険料率は、いずれの勘定未閉鎖保険年度についても引き続き 0% です。

以上



Jeremy Grose
Chief Executive
Charles Taylor & Co Limited

Direct Line: +44 20 3320 8835
E-mail: jeremy.grose@ctplc.com

(本回覧は、英文クラブ回覧を組合員各位の便宜のために日本語に仮訳したものです。)